



明石市立  
文化博物館

## 文化博物館だより 第312号

2010年1月14日

みなさん、こんにちは。新年最初の博物館だよりです。ごあいさつが遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願い致します。

### ● 中島由夫展、オープン

新しい年が明け、新春特別展が始まりました。初日の朝、国旗・明石市の旗とともに、昨年末に制作された中島由夫さんの旗の掲揚を行い、新春特別展『中島由夫展』がオープン。三が日が過ぎたとはいえ、まだお正月の気分も漂うなか、午前中からますますの出足がありました。



また、その日の午後からはイベントがありました。あるお客様が「雅楽のような雰囲気を感じられてお正月にぴったり」と感想を仰っていた三弦と胡弓の音色が静かに始まり、大和松蒔さんの優美な地唄舞「珠取海女」が上演されました。珠取海女は、海女が我が子のため自分の身を犠牲にして海に沈んだ宝玉を取り戻すというお話。場面のひとつに明石がでてくる、母の愛をテーマにした内容です。

前半は舞を堪能していただき、中盤の海女が海中に飛び込むあたりで、中島由夫さんが登場！まずは青い絵の具で描き始め、みるみる内に、左右に赤・青の人、周囲に点々と海の水しぶきのように絵の具が散らされてゆきました。後半になるにつれ、加速…筆が走り、竹ぼうきや手でも描いて、大胆なパフォーマンスを披露。先ほどまでのしっとりとした雰囲気から一転、中島さんのパフォーマンスにお客様からは、どっと笑いがおこる場面もありました。



終了後、取材に応じてお2人で

(左 大和松蒔さん、右 中島由夫さん)

イベント終了後は、サインを求める人、着ている服に絵を描いてもらう人や、新聞社などの取材や撮影が続いていました。

中島由夫さんのパフォーマンスは、今月16日(土)午後2時(会場:生涯学習センター、チケットの前売券は当館で15日まで販売)、24日(日)午後2時(会場:当館、要観覧料)でも行われます。どうぞご来場ください。

新春特別展『CoBrA を越えた太陽の画家 中島由夫展』は、2月7日(日)まで開催します。会期中は、月曜日も開館しますので、どうぞご来場下さい。